

平成30年度子ども相談支援センターの相談状況

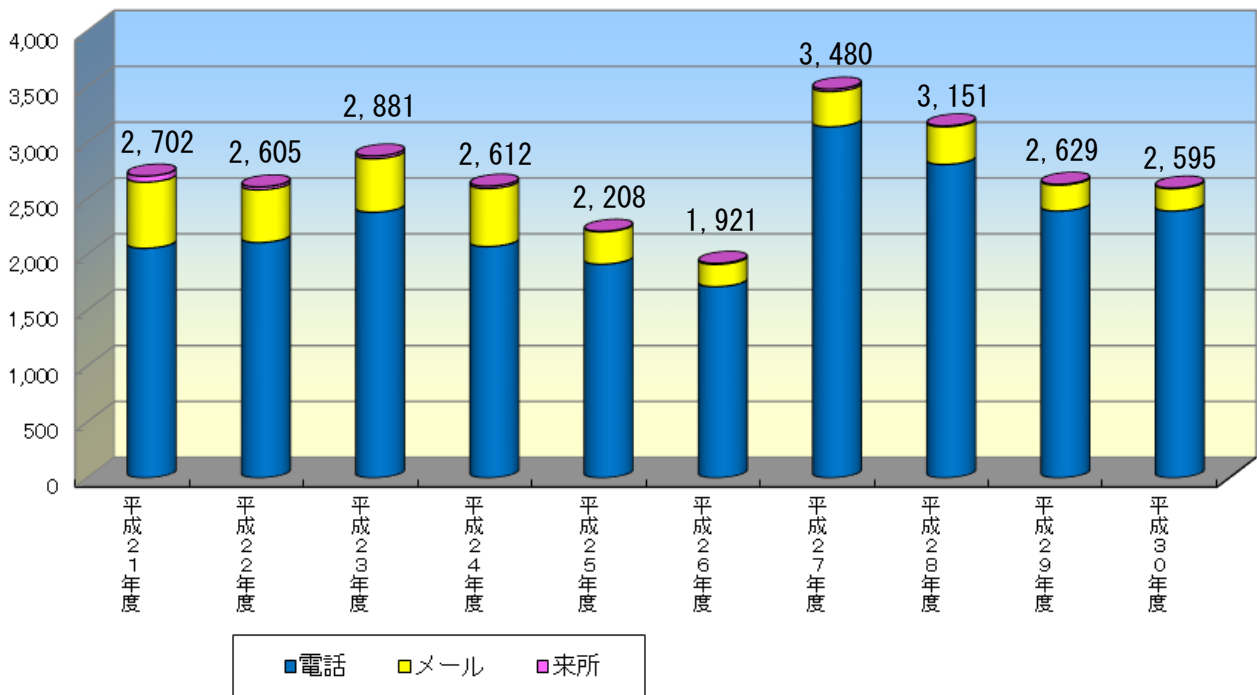
(平成30年4月～平成31年3月)

北海道教育委員会では、いじめや不登校などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなどについて、子どもや保護者から直接相談を受けて問題の解決につなげる「北海道子ども相談支援センター」を、平成27年10月に開設し、電話、メール、来所による相談を実施しています。電話相談はいつでも相談を受けることができるよう、毎日24時間対応しています。

平成30年度（平成30年4月～平成31年3月）の相談状況をまとめました。

◆年度別の状況

1 相談（電話・メール・来所）の年度別受理件数（延べ件数）



※ 平成27年度については、9月までは、道立教育研究所の受理件数、10月から平成30年3月までは、子ども相談支援センターの受理件数の合計。

※ 「延べ件数」とは、1回の電話相談を、1件とカウントしたもの（以下、同様）。

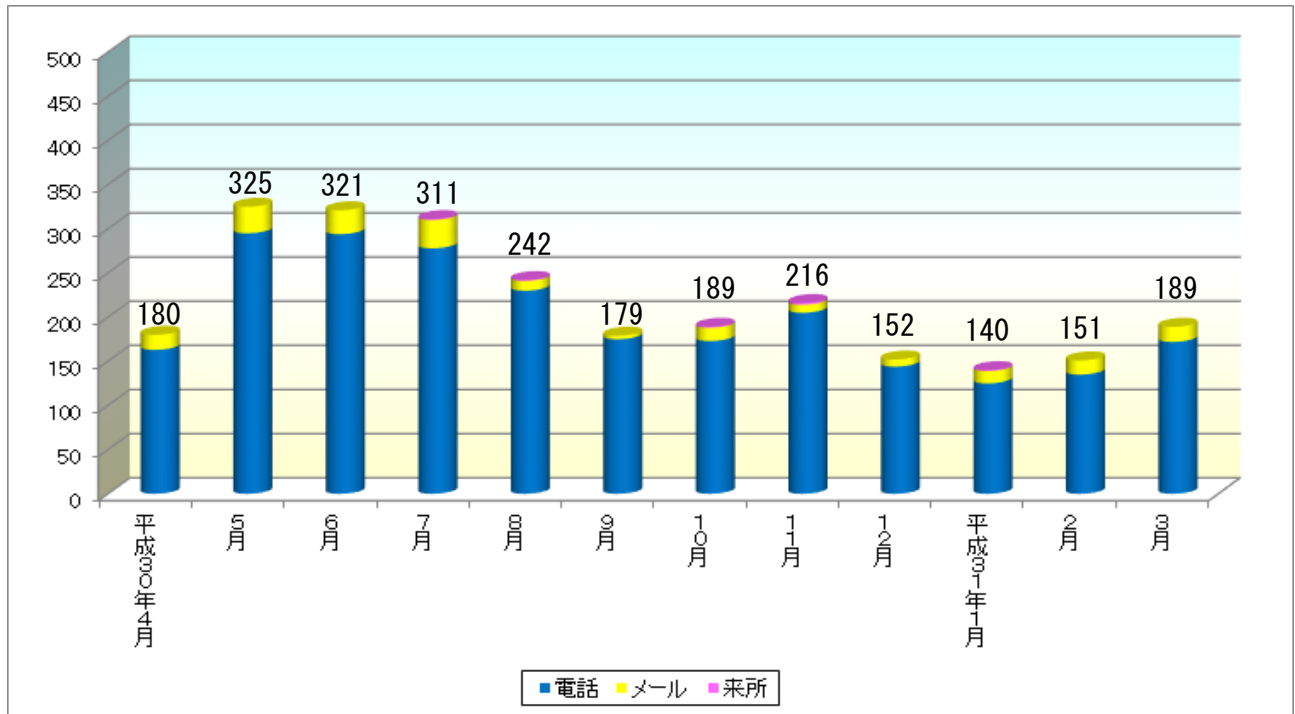
○内訳

年度 窓口	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
電話	2,056	2,107	2,378	2,071	1,913	1,712	3,143	2,806	2,389	2,389
メール	592	472	479	520	290	200	316	337	232	200
来所	54	26	24	21	5	9	21	8	8	6
合計	2,702	2,605	2,881	2,612	2,208	1,921	3,480	3,151	2,629	2,595

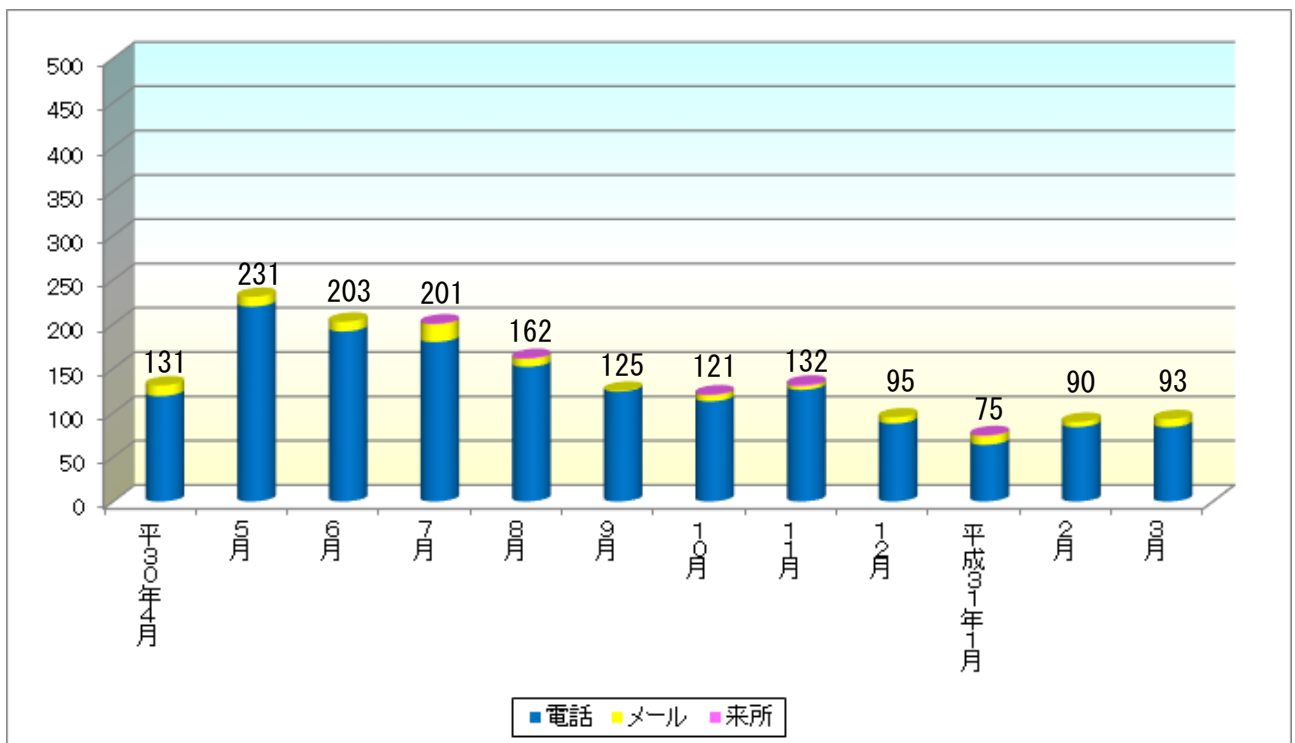
◆平成30年度の相談状況（平成30年4月～平成31年3月）

2 相談（電話・メール・来所）の月別受理件数

【相談受理件数（延べ件数）】 合計件数 2,595 件（電話 2,389 件、メール 200 件、来所 6 件）



【相談受理件数（実件数）】 合計件数 1,659 件（電話 1,546 件、メール 107 件、来所 6 件）

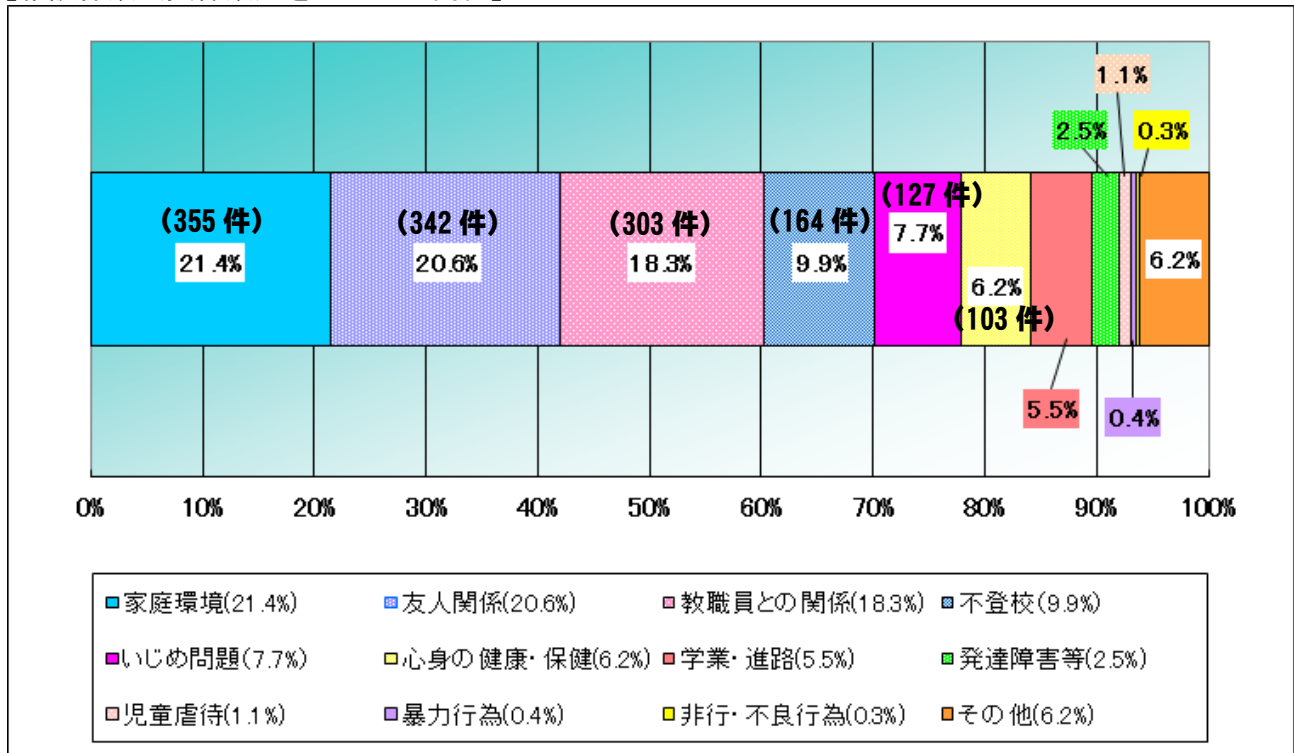


※ 「実件数」とは、同一相談者からの、同一相談対象者に関する、同一相談内容の相談について、複数回電話があっても1件とカウントした数（以下、同様）

例：母親からの長男の不登校に関する相談が5回あった場合、「延べ件数」は5件、「実件数」は1件とカウント。

3 相談（電話・メール・来所）内容の内訳

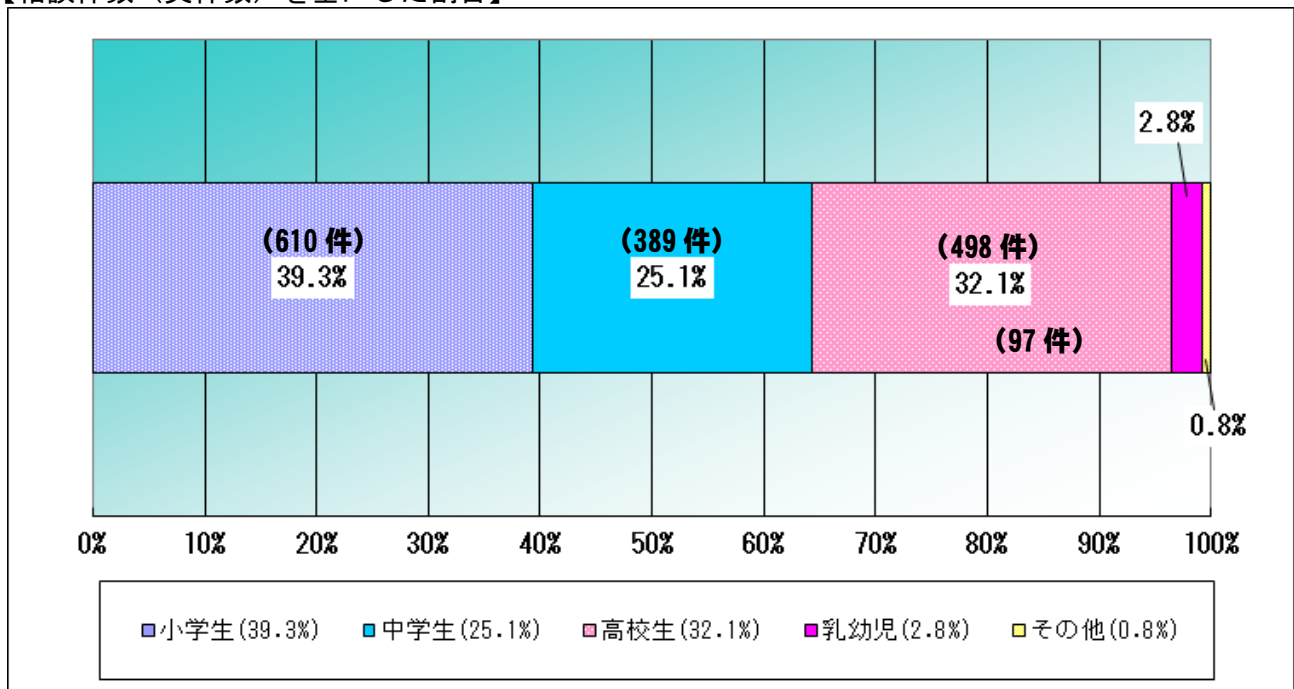
【相談件数（実件数）を基にした割合】



4 相談対象者の内訳（メール相談を除く）

※相談の対象となっている子どもの内訳

【相談件数（実件数）を基にした割合】



5 教育相談の全体的傾向

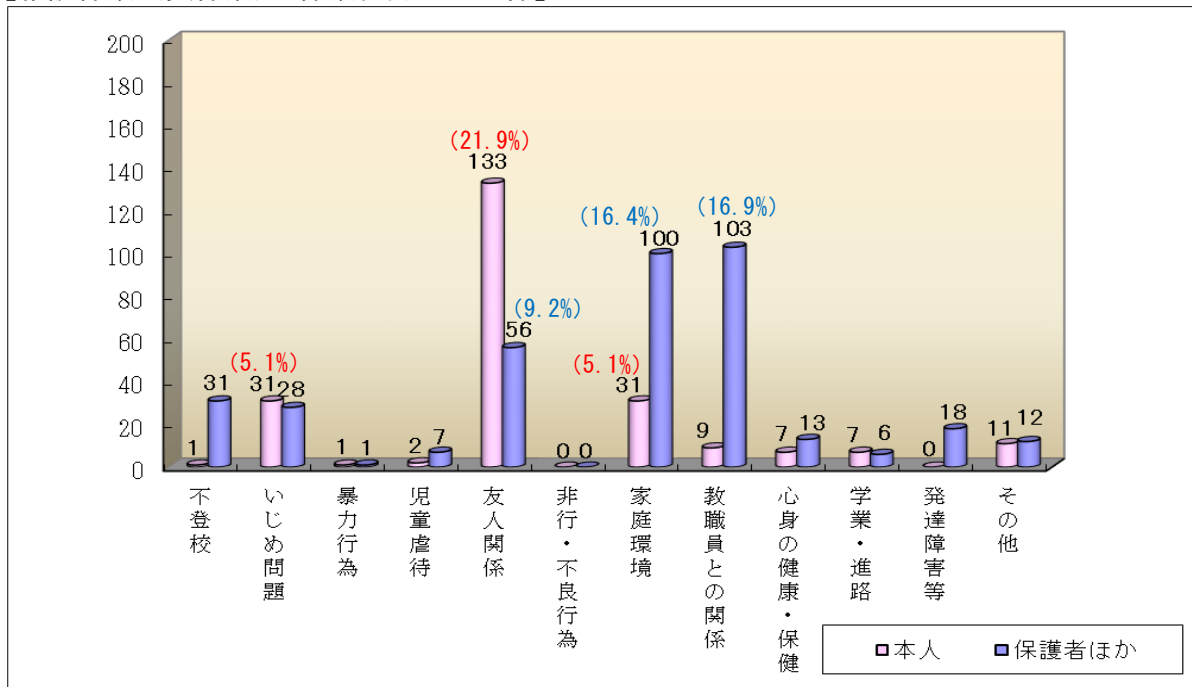
- 平成30年度の相談件数（延べ件数）について、平成30年4月から平成31年3月までの1年間で、電話、メール、来所の相談件数は、合計2,595件となっています。内訳は、電話2,389件、メール200件、来所6件となっています。
- 月別の相談件数は、5月が最も多く、次に6月が多くなっています。
- 相談件数（実件数）で見た場合、相談内容は、①家庭環境、②友人関係、③教職員との関係の順に多く、相談対象者は、①小学生、②高校生、③中学生の順に多くなっています。

6 電話相談の状況

(1) 小学生に関わる相談内容

- 児童本人からの相談内容として、最も多いのは「友人関係」で、2番目は「いじめ問題」、「家庭環境」となっています。
- 保護者等からの相談内容として、最も多いのは「教職員との関係」で、2番目は「家庭環境」、3番目は「友人関係」となっています。

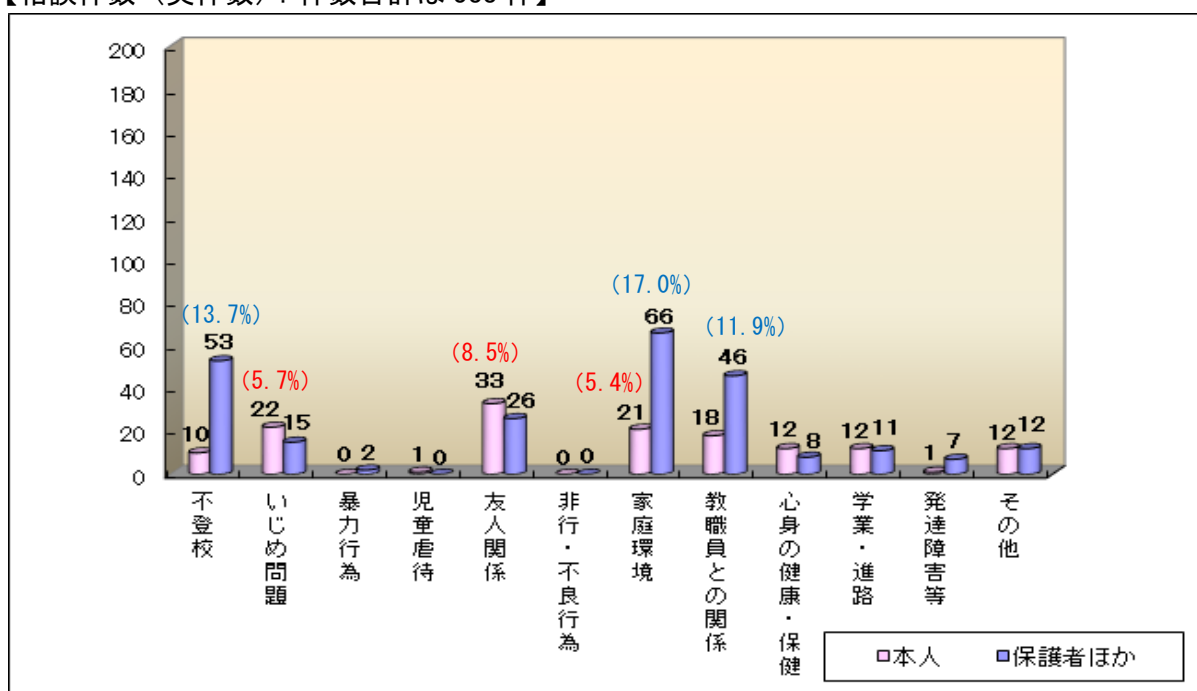
【相談件数（実件数）：件数合計は 608 件】



(2) 中学生に関わる相談内容

- 生徒本人からの相談内容として、最も多いのは「友人関係」で、2番目は「いじめ問題」、3番目は「家庭環境」となっています。
- 保護者等からの相談内容として、最も多いのは「家庭環境」で、2番目は「不登校」、3番目は「教職員との関係」となっています。

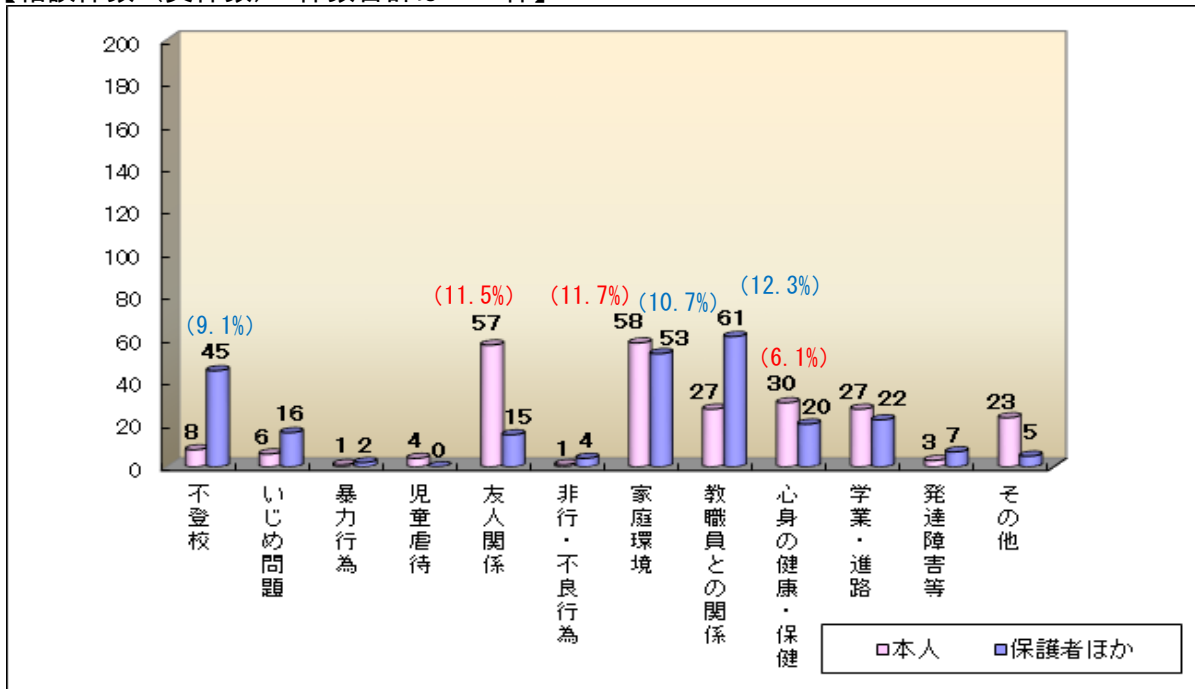
【相談件数（実件数）：件数合計は 388 件】



(3) 高校生に関わる相談内容

- 生徒本人からの相談内容として、最も多いのは「家庭環境」で、2番目は「友人関係」、3番目は「心身の健康・保健」となっています。
- 保護者等からの相談内容として、最も多いのは「教職員との関係」で、2番目は「家庭環境」、3番目は「不登校」となっています。

【相談件数（実件数）：件数合計は 495 件】



(4) 各校種における状況

○ 相談件数の多い相談内容（実件数）

- 小学生
 - ・本人からの相談は約 38%、保護者等からの相談は約 62%となっています。
 - ・本人からの相談内容としては、①友人関係、②家庭環境、いじめ問題の順となっています。
 - ・保護者等からの相談内容としては、①教職員との関係、②家庭環境、③友人関係の順となっています。
- 中学生
 - ・本人からの相談は約 37%、保護者等からの相談が約 63%となっています。
 - ・本人からの相談内容としては、①友人関係、②いじめ問題、③家庭環境の順となっています。
 - ・保護者等からの相談内容としては、①家庭環境、②不登校、③教職員との関係の順となっています。
- 高校生
 - ・本人からの相談及び保護者からの相談はともに、約 50%となっています。
 - ・本人からの相談内容としては、①家庭環境、②友人関係、③心身の健康・保健の順となっています。
 - ・保護者等からの相談内容としては、①教職員との関係、②家庭環境、③不登校の順となっています。

【相談件数（実件数）】

相談対象	相談者		①	②	③
小学生 608 件	本人	233 件 (38.3%)	友人関係 133 件 (21.6%)	家庭環境 31 件 (5.1%)	いじめ問題 31 件 (5.1%)
	保護者等	375 件 (61.7%)	教職員との関係 103 件 (16.9%)	家庭環境 100 件 (16.4%)	友人関係 56 件 (9.2%)
中学生 388 件	本人	142 件 (36.6%)	友人関係 33 件 (8.5%)	いじめ問題 22 件 (5.7%)	家庭環境 21 件 (5.4%)
	保護者等	246 件 (63.4%)	家庭環境 66 件 (17.0%)	不登校 53 件 (13.7%)	教職員との関係 46 件 (11.9%)
高校生 495 件	本人	245 件 (49.5%)	家庭環境 58 件 (11.7%)	友人関係 57 件 (11.5%)	心身の健康・保健 30 件 (6.1%)
	保護者等	250 件 (50.5%)	教職員との関係 61 件 (12.3%)	家庭環境 53 件 (10.7%)	不登校 45 件 (9.1%)

※ () 内は、相談対象別の割合